

元戦車中隊長の模型部屋 第5回

自分の愛車を模型にして飾ってみたい。そんなことを考えている方も多いのではないのでしょうか。車やオートバイ、さすがに飛行機の方は多くないかな(笑) 私もそんな一人です。ただ、模型になるような車にも乗ることはありませんから、自衛隊車両でしかその願いは叶いません。先日、自宅で古い模型雑誌を見ていたら、25年前に90式戦車に乗っていた私の写真を見つけ、その当手を思い出しながら自分の愛車を再現しました。ということで、今回は・・・

90式戦車です。



キットはタミヤさんです。発売されたのは今から約23年前で、90式戦車が配備されるやすぐにキット化されました。10式戦車が発売された時と同じように、90式戦車もすぐに店頭から消え、当時よく売れていたと思います。私は今までに4両くらい作ったと思いますが、今回は約20年ぶりですね。あの頃より少しは技量が上がったかな?(笑)

以前、このコーナーで90式戦車を紹介させてもらいましたが、今回はテトラ社のエッチングパーツやラウベンモデルさんの組み立て式履帯を使用して、かなり力を入れて作りましたので、こだわりの作例をご覧ください!



部隊マークは北海道の第71戦車連隊第5戦車中隊です。私がこの中隊に在籍していた時に、90式戦車が配備されました。74式戦車に比べて速度も速く、不整地走破能力も格段に向上していましたので、演習場で訓練するのが嬉しかったですね。

10式戦車、16式機動戦闘車もかっこいいですが、90式戦車も負けていませんよ！サイドスカートの際間から吹き出てくる泥がこだわります(笑)



今回使用したラウベンモデルさんの組み立て式履帯。一枚一枚連結するので自然なたわみが表現できます。また、造形がシャープなのでリアルに仕上がります。

でも、一枚一枚組み上げるのがなかなか根気がいるのです。悟りが開けそうな感じでした。



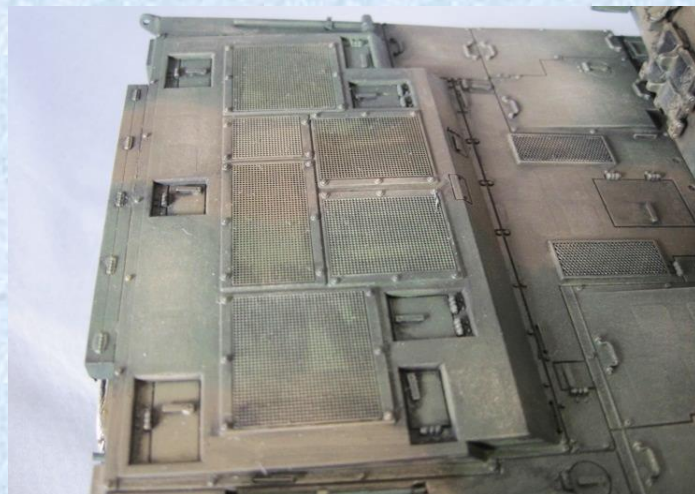
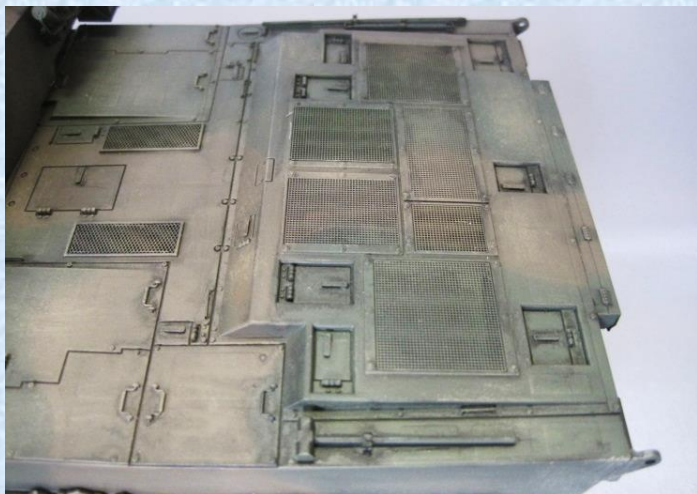
牽引ワイヤーはステンレスワイヤーで作直し、ワイヤーガイドはエッチングパーツです。ワイヤーの硬さが表現できます。水缶を止めているベルトとそのバックルですが、通すのが大変でした。



発煙弾発射機のキャップチェーンや工具箱バンドのアップ。これを取付けるのも苦労しました。でも、精密感がぐっとあがります。エッチングパーツって素晴らしいです。



土工具止めもエッチングパーツです。蝶ネジが表現されているのがわかりますか？



各種点検ハッチのレバーも全て削り落としてエッチングパーツに変えてます。なぜかという、一部のハッチレバーが開状態でキット化されており、正しい閉鎖位置に直してます・・・って、そんなのわかりませんよね。え？もっと詳しく知りたい？そんな方は、ぜひ入隊して機甲科隊員になって自分の目で確かめてみては！ご連絡はお近くの自衛隊地方協力本部へ！（笑）



戦車のハッチは重たいので、不意に閉まって指などを挟まないように固定チェーンが付いてます。模型といえども安全管理のため取り付けしてます（笑）



重機関銃の架台や弾薬箱、砲手用潜望鏡カバーもエッチングパーツです。本来の薄い金属板が表現できます。銃はつや消し黒で塗装した後に鉛筆の粉を擦り付けるといふ、いつもの方法です。



戦闘行動間の乗員は姿勢を低くすることを躰として徹底されます。今回の作例も戦闘行動を想定しているので乗車姿勢を低くしています。これにより、乗員の迷彩服の塗装面積が少なくなります(笑)でも、この方が緊迫感が出ますよね。



ちなみに、90式戦車の120mm戦車砲の砲弾はどんなものがあるの？という職場の先輩から聞かれたので、砲弾についても再現しました(笑)

左から多目的対戦車榴弾(2発)、装弾筒付翼安定徹甲弾、訓練弾、射撃後の撃殻薬莖です。銀色の部分が焼尽薬莖となっており、射撃後は弾底部が残ります。

同じ中隊車両の73式APC
と並べてみたり・・・

**中隊長、こちら3小隊長。小隊は
76高地に向かい前進する！**

協同訓練を行っていた第11普通科連隊第1中隊の89式装甲戦闘車と並べて
みて、若かりしき小隊長の頃を思い出します。こんなことができるのも模型なら
ではですね。それではまた次回！